

2-2 日本語教育プログラム

DP との関係



(1) 「日本語教育プログラム」について

本プログラムは、外国語としての日本語を指導するために必要な専門的基礎知識と基礎能力の習得を目的とします。

本プログラム修了に必要な単位数は26単位(必修科目12単位、選択科目14単位)です(注1)。

必要単位数を取得した者には、「茨城大学日本語教育プログラム修了証」を交付します。本修了証は、本プログラムの所定の単位を取得し、本プログラムを修了したことを証明するもので、日本語教員資格などを認定するものではないことに注意してください。なお、現在、教育職員免許状のような公的な日本語教員免許制度はありません(注2)。

(注1) 本プログラムの教育課程編成は、文化庁が平成12年3月30日に取りまとめた「日本語教育のための教員養成について」において示された教育内容に準拠します。また、法務省による日本語教育機関の告示基準(平成29年8月1日施行)の第1条第1項13号及び「日本語教育機関の告示基準解釈指針」に示された「日本語教育機関における教員の要件」(平成29年度4月以降入学者から適用)を満たす教育課程となっています。

(注2) 日本語教員の知識・能力を判定するものとしては、(財)日本国際教育支援協会(JEES)が実施している「日本語教育能力検定試験」があります。

(2) 「日本語教育プログラム」の受講対象者について

本プログラムを受講できるのは人文社会科学部と教育学部の学生です。なお、本プログラムは人文社会科学部のサブメジャーとなっています。詳しくは人文社会科学部の履修要項等を確認してください。

本プログラムは学年進行で開講されます。

(3) 「日本語教育プログラム」の履修科目及び履修基準について

本プログラムは選択科目と必修科目から構成されています。それぞれの履修科目及び履修基準は次のとおりです。

1) 選択科目

- ① 選択科目(注3)は、指定された基盤教育科目(注4)及び人文社会科学部・教育学部開講の専門科目から選択すること。

(注3) 「ナンバリングコード」に「JEP」のコードが付された科目

(注4) 基盤教育科目は、異なる授業科目であれば同一授業科目を複数履修することができる。

- ② 履修に当たっては、所属学部の履修基準に従い、各授業科目の履修上の注意をよく読んで履修すること。
- ③ 選択科目は、領域1「言語、言語と心理、言語と教育」、領域2「言語と社会、社会・文化・地域」の各領域4単位以上含み、14単位以上を履修すること。

2) 必修科目

- ① 「思想・文学[日本語を考える]」は(日本語文法)、(日本語の諸相)の計2単位を履修すること。
- ② 「日本語教授法」はI、IIの順で履修すること。
- ③ 「日本語教授法演習」「日本語教授法演習(海外)」はいずれか1科目を履修すること。

- ④ 「日本語教授法演習」及び「日本語教授法演習(海外)」は3年次後学期又は4年次前学期に受講するが「日本語教授法演習」「日本語教授法演習(海外)」開始前に当該授業以外の所要単位をすべて取得済みであることが履修条件なので注意すること。また、「日本語教授法演習(海外)」は学内の交換留学に応募し、受入校への交換留学派遣候補者として推薦を受けることが履修条件となっている。
- ⑤ 必修科目の「日本語教育概論」、「多文化社会と日本語教育」、「日本語教授法Ⅰ」、「日本語教授法Ⅱ」、「日本語教授法演習」「日本語教授法演習(海外)」は、全学共通科目として開講される。
- ⑥ 「日本語教授法演習」の受講者数は、3年次以上後学期10名程度、4年次前学期10名程度であり、希望者が受入可能数を超えた場合は、必修科目(思想・文学[日本語を考える(日本語文法)及び(日本語の諸相)]日本語教育概論、多文化社会と日本語教育、日本語教授法Ⅰ、日本語教授法Ⅱ)の成績によって選抜する。選抜の時期は、3年次前学期の成績が出た時点(9月中旬頃)とする。その結果、「日本語教授法演習」を受講できず、本プログラムを修了できないことがあるので注意すること。
- ⑦ 「日本語教授法演習」及び「日本語教授法演習(海外)」以外の必修科目は、必ずしも本プログラム修了を目指さない人文社会科学部・教育学部の学生も履修できる。
- ⑧ 「日本語教授法演習」及び「日本語教授法演習(海外)」は履修条件を満たしているかどうか、確認の上、履修申告すること。

表1 必修科目(12単位) ※基盤: 基盤教育科目 全学: 全学共通科目

	授業科目	履修年次	開講学期	単位
基盤	思想・文学「日本語を考える(日本語文法)」	1年次以上	1年第3クォーター	1
基盤	思想・文学「日本語を考える(日本語の諸相)」	1年次以上	1年第4クォーター	1
全学	日本語教育概論	2年次以上	前学期	2
全学	多文化社会と日本語教育	2年次以上	前学期	2
全学	日本語教授法Ⅰ	2年次以上	後学期	2
全学	日本語教授法Ⅱ	3年次以上	前学期	2
全学	日本語教授法演習 または 日本語教授法演習(海外)	3年次以上	3年後学期/ 4年前学期	2

(注1) 「日本語教授法演習」の期間は3～4週間である。その期間中に茨城大学の日本語クラスでの教壇実習を含む15回(30時間)の授業を行う。詳細は「日本語教授法演習」履修条件確認時に渡される「日本語教授法演習案内」を参照のこと。

(注2) 「日本語教授法演習(海外)」は大学間交流協定校との協力で行う。渡航前に全学教育機構教員によるガイダンスを受ける。受入協定校で、担当教員の指導のもと、1学期に26時間以上日本語教育に関する学修(授業見学、採点補助、会話パートナー、教材作成補助、教壇実習など)を行う。帰国後レポートを提出し、帰国報告会を行う。履修登録方法等、詳細は履修条件確認時に渡される「日本語教授法演習(海外)案内」を参照のこと。受入協定校はインドネシア教育大学、仁済大学、アイダホ州立大学、ウィスコンシン州立大学、レンヌ第一大学、マレーシア科学大学。協定校の事情等により受入れできない年度もあるため、留学申請前にプログラム担当教員に相談すること。

(4) 「日本語教育プログラム」の開講科目について

「日本語教育プログラム」に対応する科目は表2「日本語教育プログラム」対応科目一覧のとおりです。令和3年度に開講される具体的な授業は別冊「令和3年度大学共通教育開講授業科目一覧」の「令和3年度 日本語教育プログラム開講科目一覧表」を確認してください。

表2 「日本語教育プログラム」対応科目一覧

区分	領域	学部	授業科目	対象年	単位	学部	授業科目	対象年	単位
必修科目		基盤	思想・文学 【日本語を考える(日本語文法)】	1年	1	全学	日本語教授法Ⅰ	2年	2
		基盤	思想・文学 【日本語を考える(日本語の諸相)】	1年	1	全学	日本語教授法Ⅱ	3年	2
		全学	日本語教育概論	2年	2	全学	日本語教授法演習 または 日本語教授法演習(海外)	3年	2
		全学	多文化社会と日本語教育	2年	2				
選択科目	領域1	人	国語学概論	1年	2	基盤	思想・文学	1年	1
		人	国語史Ⅰ	2年	2	基盤	ドイツ語Ⅰ	1年	2
		人	国語史Ⅱ	2年	2	基盤	ドイツ語Ⅱ	1年	2
		人	社会言語学入門	1年	1	基盤	フランス語Ⅰ	1年	2
		人	社会言語学概論	2年	2	基盤	フランス語Ⅱ	1年	2
		人	言語学概論	1年	1	基盤	中国語Ⅰ	1年	2
		人	言語文法論	2年	2	基盤	中国語Ⅱ	1年	2
		人	応用言語学入門	1年	1	基盤	朝鮮語Ⅰ	1年	2
		人	応用言語学概論	2年	2	基盤	朝鮮語Ⅱ	1年	2
		人	英語学概論	1年	2	基盤	スペイン語Ⅰ	1年	2
		人	認知心理論Ⅰ	2年	2	基盤	スペイン語Ⅱ	1年	2
		教	英語科教育法Ⅰ(注1)	1年	2	基盤	ドイツ語入門	1年	1
		教	英語科教育法Ⅱ(注1)	2年	2	基盤	フランス語入門	1年	1
		教	英語学概論A	1年	2	基盤	中国語入門	1年	1
		教	英語科指導法演習Ⅰ(注1)	2年	2	基盤	朝鮮語入門	1年	1
		教	初等国語科内容論(注1)	1年	1	基盤	スペイン語入門	1年	1
		教	初等国語科教育法(注1)	2年	2	基盤	学術日本語Ⅰ(注2)	1年	1
		教	中等国語科教育法Ⅲ(注1)	2年	2	基盤	学術日本語ⅡA(注2)	1年	1
	教	国語学概論	1年	2	基盤	学術日本語ⅡB(注2)	1年	1	
	教	国語表現法	2年	2	基盤	学術日本語ⅡC(注2)	1年	1	
	教	教育心理学(注1)	1年	2					
	領域2	人	日本文化再考	2年	2	教	異文化理解概論	2年	2
		人	異文化コミュニケーション論	2年	2	教	言語と文化の諸相	2年	2
		人	国際開発学	2年	2	基盤	人間とコミュニケーション	1年	1
		人	国際協力論	2年	2	基盤	多文化共生	1年	1
		人	平和学	2年	2	基盤	グローバルスタディーズ	1年	1
人		比較文化論	2年	2					

◆必修科目…12単位履修

◆選択科目…領域1「言語、言語と心理、言語と教育」、領域2「言語と社会、社会・文化・地域」の各領域4単位以上を含み、14単位以上を3年次後学期開始前までに取得しておくこと。

注1:「英語科教育法Ⅰ・Ⅱ」、「初等国語科内容論」、「初等国語科教育法」、「中等国語科教育法Ⅲ」、「英語科指導法演習Ⅰ」、「教育心理学」は、教育学部生向け科目。(他学部生受講不可)

注2:「学術日本語Ⅰ」「学術日本語ⅡA」「学術日本語ⅡB」「学術日本語ⅡC」は外国人留学生対象の科目。(日本人学生受講不可)